

2025 陸上競技ダイジェスト

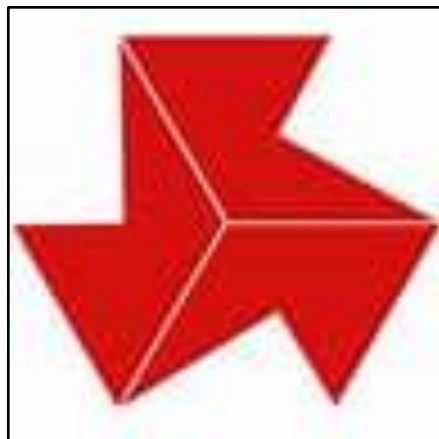
「第 78 回兵庫県高等学校陸上競技対校選手権大会阪神地区予選会」

5 月 10 日 (土) ~ 5 月 11 日 (日)

尼崎市記念公園陸上競技場

兵庫県高体連陸上競技部 広報委員会

全国高体連のマーク



KRAFT…**力**

KUNST…**技**

KLARHEIT…**明朗な精神**

マークの由来…ドイツ語の 3 つの K の頭文字をとったもの。「**若い力とわざと明朗な精神**」を象徴し、真紅の色彩は「**高い理想**」と「**希望に燃える若人の情熱**」を象徴している。



前日までの予報によると雨模様の中試合が開始されるかと思われたが、曇天の状態でのスタートとなった。昨年度女子総合の部で優勝した**園田学園の本田七**の「広島 IH へ向けて全力を尽くします」との選手宣誓で今大会の幕は切って落とされた。

1 日目フィールド最初の決勝種目、**男子円盤投は市島優樹(尼崎稲園)**が 3 投目に 36m76 で優勝した。**女子棒高跳は秦桃香(尼崎双星)**が 2m70 で優勝した。**女子走高跳**は増田(西宮東 2)が 1m56 を 3 回目でクリアする粘りを見せたが、その高さを 1 回でクリアした 1 年生の**山本胡桃(園田学園)**が 1m59 を跳び優勝を決めると、1m61 に記録を伸ばし試技を終了した。続いて行われた**男子棒高跳**は強風が吹く悪コンディションの中、**安本翔咲(尼崎双星 3)**が 4m30 を軽々と跳び優勝を決めると、大会記録を 1cm 上回る 4m61 に挑戦し、3 回目にクリアした。その後 4m70 に挑戦しクリアして記録を伸ばして優勝に花を添えた。**女子 100mH**は 1 年生の**原楓夏(園田学園)**が 14 秒 98 のタイムで 2 位以下を大きく引き離してゴールし優勝をした。**男子 1500m**は昨年度もこの種目を制している**福島颯海(県伊丹 3)**が残り 1 周で集団から飛び出し、ラスト 200m でさらにギアチェンジ。大会新記録となる 3 分 56 秒 74 で優勝した。**男子 100m**は準決勝で向かい風 1.2m の悪条件の中 10 秒 67 の大会新記録をたたき出した**古今堂辰弥(関西学院 2)**が 10 秒 79(-1.5)で圧勝した。**男子三段跳**は昨年全国 IH で決勝に進んでいる**磯山福太郎(西宮東 3)**が 2 回目に 14m17(+1.6)を跳んでトップに立つと、最終 6 回目に 14m39(+0.5)と記録を伸ばし優勝した。**女子 4 × 100m**は 1 年生を 2 名使った**園田学園(松下 1・谷 3・森川 3・飯伏 1)**が大会記録を 0.02 秒更新する 47 秒 58 で優勝した。

2 日目、トラック最初の決勝種目**男子 3000mSC**は昨年度近畿 IH で決勝に進出している**徳山博貴(市西宮高 3)**が 1000m を 2 分 57 秒、2000m を 5 分 59 秒でラップを刻み一人旅。大会記録を 10 秒近く更新する 9 分 00 秒 82 と 8 分台目前の好記録で優勝した。**女子砲丸投**は**宮岸依瑛菜(園田学園 2)**が 1 投目に 9m77、2 投目に 10m42 を投げて優勝を確実なものにすると、6 投目に 10m40 とさらに記録を伸ばし優勝した。**女子 3000m**は澤田(園田学園 3)が阿曾(市西宮 2)、**早川侑希(園田学園 1)**、渡邊(園田学園 1)、石田(西宮東 3)で形成する集団を引っ張り続ける。1000m を 3 分 18 秒、2000m で通過し、6 分 49 秒とラップを刻む。ラスト 1 周の鐘を合図に阿曾がスパート。追いつがる園田勢。ラスト 250m で早川が阿曾を捉えそのままゴールし優勝した。**男子 400mH**は予選で 55 秒台をマークし圧倒的な強さを見せつけた**磯部泉(県伊丹 3)**がスタートから一気に飛び出し、他を寄せ付けず 53 秒 38 の大会記録のタイムで優勝した。**男子 5000mW**は 2000m まで**大崎壮真(3)**、辻(2)の市西宮勢が先頭を争う展開。4000m を通過し

たあたりから大崎が辻を引き離し、21 分 34 秒 86 で優勝した。**女子 5000m W**は 1800m あたりまで 4 人でレースを進めていたが、2000m を過ぎると**芝村悠里(県尼崎 3)**と岡本(尼崎稲園 3)の一騎打ちの展開に。その後芝村がペースを上げて 27 分 47 秒 64 で優勝した。**女子 800m**は鳥居(園田学園 3)と昨日の 1500m で優勝した井口(県西宮 3)、そして 1 年生の**藤井志帆(園田学園)**が一同となり 400m を 1 分 4 秒で通過し、戦線の様相を見せていたが、徐々に藤井がスピードを上げ、残り 200m で完全に突き放し 1 年生優勝を果たした。続いて行われた**男子 800m**。注目は昨日 1500m を大会新で制した**福島(県伊丹 3)**。400m を 57 秒で通過するとそのまま後続を大きく引き離し 2 位に 6 秒近い差をつけて 1 分 56 秒 74 で優勝した。**女子 200m**は昨日の 100m を制した松下心優(市西宮 3)が向かい風 2.6m の悪条件の中 25 秒 47 で 100m との二冠を達成した。**男子 200m**は 1 年生の**中村樹月(市尼崎)**が 22 秒 58(-1.8)で制した。**男子砲丸投**は昨年度全国 I H に出場している**宇都篤基(西宮今津 3)**が 1 棟目から 15m05 を投げ優位に立つと、その後全て 14m 台の投てきを見せる。そして最終 6 頭目、大会記録となる 15m80 を投げて昨日優勝したハンマー投との二冠を達成した。**男子 4×400m**は**県伊丹(磯部 3・菅生 2 福島 3・松原 3)**が大会記録に 0.06 秒と肉薄する 3 分 18 秒 47 で優勝した。